

2020年オリンピック後の社会システム・インフラが抱える潜在的課題抽出研究

目的

2020年に開催される東京オリンピックに向けて、開催後の社会システム、インフラに焦点を当てた潜在的な課題を、他国でのオリンピック開催都市を訪問調査することで、オリンピック後に起こりうる課題を抽出するというものである。

●訪問都市・日程

訪問国	訪問都市	訪問日程
アメリカ	ロサンゼルス	H30 8/28～8/31
	アトランタ	H30 8/31～9/2
カナダ	モントリオール	H30 9/2～9/5
	バンクーバー	H30 9/5～9/7
韓国	ソウル	H31 1/29～2/1

●事前研究(2020年東京 ヒアリング)

H30.6/11 東京

事前研究として東京オリンピック組織委員会におられた方にヒアリングをさせていただいた。

特に施設関係の話や、交通インフラの計画について深く話をさせていただいた結果、以下に示すような知見が得られた。



- ・多くの施設は仮設であり、大会後は解体する予定である。
- ・本大会における基本的な交通輸送計画は、関係者は車で運び、観客には公共交通を利用してもらうことと考えている。
- ・本大会の大きなテーマとして“アクセシビリティ”というワードがあり、東京を訪れる方すべてのアクセシビリティを保證することが大きな課題である。
- ・今回のオリンピックでは特に移動の質の向上を目指している。本大会によって日本の道路基準を変えることが、本大会における大きなレガシーになると考えている。

海外研究 ～アメリカ視察(ロサンゼルス・アトランタ編)～

ロサンゼルス Los Angeles (8/28-8/31)

～現在でも盛んに利用される施設群～

訪問地の現在

大学やプロスポーツのための競技場として利用が続いている。

アメリカでは大学スポーツも非常に大々的に行うため非常に活気のある様子であった。

満足な集客、収益があるからこそ継続的な整備ができています。



オリンピックスタジアム



ドジャースタジアム

ロサンゼルス番外編

アメリカでの最初の食事！
提供される食事のすべてがまさにアメリカンサイズ！
ちなみに値段は日本よりもかなり高めでした……



ロサンゼルスのとあるレストランにて

アトランタ Atlanta (8/31-9/2)

～利用終了後は放置された印象のメインスタジアム～

訪問地の現在

メインスタジアムは、本拠地としていたプロの団体が、本拠地を移転したため非常に閑散としていた。

施設の利用がなくなり、それを放置してしまった場合、周辺治安の低下の危険がある。

大会後の利用を考えた施設の在り方を考える必要がある

アトランタ番外編

オリンピックの会場でもあったストーンパークを訪問しました。日本にはない規模の自然に感動。

ちなみに写真は巨大な一つの石の上から撮影したものです。



ストーンマウンテンパークにて



センテニアル・オリンピックパーク(ターナーフィールド)

海外研究 ～カナダ視察(モントリオール・バンクーバー編)～

モントリオール Montreal (9/2-9/5)

～屋根が特徴的なスタジアム～

訪問地の現在

- ・オリンピックスタジアム
- スポーツイベントの開催施設

市民の集まる場、観光場所へと変化



オリンピックスタジアム

モントリオール番外編

有名なジャズバーで美味しい料理とお酒をいただきました。



モントリオールのジャズバーより

バンクーバー Vancouver (9/5-9-7)

～活気がある跡地!～

訪問地の現在

- ・オリンピックスタジアム
- プロスポーツの試合会場
- ・選手村
- 一般向けの人に分譲

跡地が現在の環境にとけこむ

バンクーバー番外編

グランビルアイランドにて、至福の時間を過ごすことができました。



地ビールも堪能しました。



現在の選手村



オリンピックスタジアム

現地視察・ヒアリング～韓国(ソウル・平昌)編～

2019/1/29-2019.2/1

韓国国土研究院(KRIHS)にて、韓国で過去に開催されたオリンピックの効果とその跡地利用について3人の研究者にヒアリングおよび、意見交換を行った。

また、ソウルオリンピック会場や選手村の現在の様子を視察した。

平昌オリンピックについては経済効果の推定研究について伺った。



▲韓国国土研究院にてヒアリング

ソウル Seoul

～現在の経済の中心地～

訪問地の現在

- ・オリンピックスタジアム
→スポーツイベント、コンサートの開催施設
- ・選手村
→一般住宅に分譲、老朽化が懸念

市民の集まる場
地価が高騰し経済の中心地



オリンピック公園



選手村アパート

平昌 Pyeongchang

～政府と自治体の調整続く～

訪問地の現在

- ・多くの競技施設は大会後自治体管理とする計画
→年間3億円にものぼる維持費を自治体が負担不可能。
国に負担を求め、現在も衝突が続く。
- ・KTXなど交通インフラ整備
→ソウルからのアクセス向上・大会前より観光客数増加

高額な施設の維持費問題



現在のオリンピックプラザ

今回の海外研究を終えて...

海外での情報発信やインフラ整備の形などで日本にかけているものを強く認識する研究となった。初めての海外渡航で、人とのコミュニケーションをとる中で難しい場面は多々あったが、そのような中でもうまく対応できる力が身についた。また異文化に対する理解が深まった研究となった。

今後、本研究を通して得た経験や知識を生かし、グローバルな視野を持って広く社会に貢献していきたいと思う。